

経済学部 アドミッション・ポリシー

■ 経済学部

経済学部では、基礎的知識の獲得と経済社会の変化に対応できる力の向上を目指した経済学教育を進めており、経済学科、経営情報学科、経済法学科の 3 つの学科を設置しています。どの学科も経済学を基盤に据えたカリキュラムの展開を行うことによって、見識豊かな産業人、公務員など多様な人材の育成を目指しています。それ故、知的好奇心が旺盛で、且つみずからの将来を主体的に切り拓いていこうという志を持った若者の入学を期待しています。

■ 経済学科

経済学科では、経済学的思考とグローバルな視座を身に付け、社会の課題に真摯に向き合うジェネラリストを目指す学生を求めています。そのために必要な「学力の 3 要素」を高校生活のなかでバランスよく培ってきた、次のような入学者を受け入れます。

AP1. 知識・技能の修得に向けた基礎学力 【知識・理解】

大学での専門的な学び（経済理論、実証分析、歴史・思想など）に十分に対応できる高校段階の基礎学力を有している。

AP2. 論理的な思考力・判断力 【思考力・判断力】

経済的な視点から物事を多角的に捉え、筋道を立てて論理的に考えることができる。

AP3. 基礎的な読解力・表現力 【表現力・技能】

教科書や文献などの難しい文章を丁寧に読み解き、自分の考えを他者への確に伝える基礎的な力を備えている。

AP4. 知的好奇心と社会への関心 【関心・意欲】

日々のニュースや経済の動きに関心を持ち、グローバルな視座からその背景を深く知りたいという意欲がある。

AP5. 主体的な学びの姿勢 【主体性・協働性】

学問に真摯に向き合い、自ら進んで課題を発見し、社会の主人公として自らの将来像を切り拓いていく熱意がある。

■ 経営情報学科

- AP1. 知識・技能、思考力・判断力および文章読解力・表現力等において、高等学校等で修得すべき基礎的な能力を身につけている人。
- AP2. 広く国内外の企業経営に関連する情報に深い関心をもち、そこで起きている問題や課題について、多面的かつ論理的に思考する力を身につける意欲がある人。
- AP3. 企業経営における課題解決のために主体的に行動し、多様な人々と協働しながら課題解決に取り組む姿勢を身につける意欲がある人。
- AP4. 企業経営上の課題解決のために必要な新しい技術やスキルに関心をもち、それらを活用・応用する力を身につける意欲がある人。
- AP5. 教育分野や企業における人材育成・マネジメントなど、広く人を育てる役割を担うために必要な知識や能力を身につける意欲がある人。

■ 経済法学科

経済法学科では、経済学と法律学のコアとなる知識とスキルを確かなものとし、それを基盤としたより高度な専門知識を身につけるとともに、経済や法律にかかわる幅広い経済・社会活動に不可欠な実践的な能力と職業上の倫理観を形成する。

- AP1. 高校卒業程度の基礎学力および経済と法についての知識を有し、多様な価値や考え方と触れあって見識を深め、かつ、社会の諸課題を積極的に解決しようとする意欲をもつ人。
- AP2. 経済・金融・財政問題などに関心があり、経済理論やデータを用いた分析を行ってみたい人。
- AP3. 正義と価値の多様性に重きをおき、権利の実現・調整やリスクを管理する法システムに興味を持ち、法律にかかわる資格の取得や裁判その他の紛争解決の制度に関心のある人。
- AP4. 人権と多様性を尊び、国の公共政策や地域の経済発展・まちづくりにかかわる意欲のある人。